



今帰仁村

議会だより



R6

No. 176

12.1 発行

一般質問と答弁	2p
議決一覧(定例会)	11p
今帰仁村議会報告会・意見交換会 ..	11p
在アルゼンチン今帰仁村人会創立90周年記念 ..	12p
編集後記	12p

10月の下旬頃、上運天の畑に鮮やかなオレンジ色の花が咲き始めました。例年より2週間遅い開花です。沖縄で古くから食されていたクワンソウです。

琉球王府では中国からの冊封使をもてなした料理の材料にクワンソウが使われた記録があるそうです。また、一般家庭でも庭先に植えて、汁物として食したり、葉や茎を刻んで乾燥させ煎じて飲むと寝つきが良くなると伝えられています。クワンソウが「にいびい草(眠り草)」と呼ばれる由縁です。

ご夫妻はポニー6頭を飼育しています。毎朝、小屋の掃除と餌やりの世話をしています。ポニーをなでる仕草がまるで子どもを優しく見守る親の表情でした。

一般質問

9月定例会

会期日程（9月11日～24日）

8名が一般質問しました 9月19日(木)・20日(金)（通告順）

3p	座間味 靖	① 子育て・教育の村プロジェクトについて ② 平和で自力建設の村プロジェクトについて ③ 県高校駅伝公認コースについて ④ ヒージャーガー周辺の整備について
4p	根路銘弘美	① 2期目の久田村政のかじ取りについて ② 今帰仁村観光協会へ交付した補助金について
5p	島袋 輝也	① 保健・医療福祉の充実について ② 村の自然景観の保全について ③ 計画的な道路の維持と管理について
6p	座間味 薫	① 今後4年間の新たなプロジェクトについて
7p	山城 太	① 観光防犯カメラの設置について ② 沖縄県高校駅伝大会について ③ 役場前交差点のスクランブル交差点化について
8p	石嶺美奈実	① 選挙公営制度について ② 今帰仁村の水質について ③ 村営住宅の水道料金納付の方法について ④ 小中学生の給食費無償化について ⑤ 給食センターについて ⑥ テーマパークジャングリアから見込める税収について ⑦ ソーラーパネルについて ⑧ 小学校跡地について
9p	與那 勝治	① 教育について ② 防災対策について ③ 信号機について
10p	島袋 誠	① 運天港船舶連絡事務所の整備及び周辺道路について ② キャリア教育の今後について ③ ふれあい少年の翼について

●の数字は掲載された質問です。それ以外の質問は紙面の都合上割愛されています。本会議録については各字公民館に配布の予定です。詳しく調べたい方は、公民館もしくは議会事務局までお立ち寄りください。

問1 子育て・教育の村プロジェクト

乳幼児期からの育ちと学びはとても重要である。選挙公報に「子育て・教育の『むら』プロジェクト」今帰仁っ子の育ちと学びを支え成長を見守る」とあるが、どのようなプロジェクトか伺う。

答 久田浩也村長

保育教諭・保育士の処遇改善をはじめ保育所から小学校、高校までの校種間連携の強化を図っていく。本村における地域連携コーディネーターの活動は、教員及び保護者からの評価が高く、児童生徒も目を輝かせ、授業に参



座間味 靖 議員

問2 平和で自力建設の村プロジェクト

何よりも平和が大切である。選挙公報に「平和で自力建設の『むら』プロジェクト」平和を希求し自らの地域は自らつくっていく」

とあるが、どのようなプロジェクトか伺う。また、村長が議長時代にサインした建白書についてはどう考えているか伺う。

答 村長

村戦没者慰霊塔は、日中戦争以降の戦争で犠牲になられた方々の御霊を弔い、慰め、戦争という惨劇を繰り返すまいとの祈りを込めて、昭和30年に建てられた。建立から70年が経過し老朽化や敷地の課題などもあることから、移設先も含め、公園化による整備を検討していく。また、城跡周辺に桜の植栽エリアや散策ルートを整備するなど、世界文化遺産の魅力的な観光地形成に努めていく。現在、進めている北山文化圏センター整備に隣接する製糖工場用地の一部を活用して、道の駅や体験施設等を整備していく。道の駅が生み出す「ひと・もの・交流」の賑わいを周辺に波及させるべく、仲宗根地区を賑わいゾーンとして位置づけ、地域経済の循環を創出し、村民所得向上

につなげていくことを狙いとしている。議長時代にサインした建白書は、当時の沖縄の基地問題に関し、主義主張を超えて県議会議長、県内全市町村長と議会議長、各種団体の長が署名・押印をし、まとまったことに大変意義があったものと認識している。

問3 県高校駅伝公認コース

昨年度、県高校駅伝公認コースの要請があったと聞いているが、更新しなかった理由を伺う。

答 玉城全教育長

県高校駅伝大会は、県高体連、県教委、陸上協会主催のもと、県スポーツ協会、今帰仁村・本部町の後援、NHK等の協賛により開催され、同大会の競技役員が準備、管理を行い、競技会を進行している。公認コースの要請について県高体連に確認したところ、文書にて、村に要請した記録はないとのこと。また、公認コースの申請は、「公認のマラソン大会」等の開催が

前提であり、駅伝大会のみの開催であれば、公認コースを取得する必要はないと日本陸連からの回答を得たことから、公認コースの申請は行っていない。



問4 ヒージャーカー周辺の整備

以前にも質問したが、村から県へ要請したか伺う。また、最近階段の途中で大きな石の崩落と倒木があり、とても危険な状況である。早急に対策が必要であるが見解を伺う。

答 村長

令和5年3月定例会での答弁同様、村としては、渡喜仁区からの申請、要望を踏まえ県への要請を行っている。崩落及び倒木については、現場を確認し、関係機関と対応を協議していく。



根路 銘弘 議員

問1 2期目の久田村政のかじ取り

さらに前に進むための重点目標は。

答 村長

- (1) 子育て・教育のむらづくり
- (2) 健康・長寿で福祉の村づくり
- (3) 持続可能な農業の村づくり
- (4) スポーツ交流の村づくり
- (5) 平和で自力建設の村づくり
- (6) 村内経済の循環が進む村づくりを重点に置き、引き続き各種施策を推進するとともに、2期目の村づくりに取り組んでいく。

問 健康長寿で福祉の村の中でパークゴルフ場整備とあるが計画を伺う。

答 村長

現時点ではまだ調整の段階ではあるが、2候補用地を予定している。まだ流動的ではあるが、相手方と詰めて、パークゴルフ場の整備計画については日の目を見る日が来ると感じている。

問 北山文化圏センターの具体的な構想と供用開始までのスケジュール

答 村長

役場新築に伴う公共施設再編や既存施設の有効活用含め、一帯を村の魅力を活かした交流拠点としての活用を目的に、令和6年度は一帯の測量・設計業務、令和7年度から建物及び周辺施設の整備に着手、令和9年度供用開始を予定している。

問 北山文化圏センターの整備のことを村民に知らせる方法を検討して頂きたいが。

答 企画財政課長

いま整備を進めている文化圏構想の件であるが、10月の中旬頃に村民説明会で今現在の進捗状況、プロポなどの選定も終わったので構想の概略の絵、プランなどが示せる準備が整った形である。

問 素通り観光ではなく、村に立ち寄ってもらうための観光の場として、今副村長が目指しているものを伺う。

答 比嘉克雄副村長

現在中央公民館エリア、そして北山文化圏センターの計画を進めているが、そのエリアは住民の生活、交流、子育てのエリアで位置付けている。令和9年に供用開始をしていくが、その隣接する製糖工場用地の一部を活用し、本村の物産販売、観光情報の発信機能、体験施設を併設した道の駅の整備を構想している。その構想は今年度から北部製糖と協議を進

めており、これから基本構想、基本計画を策定し、令和9年度に事業を着手したい。その中で現在、村として観光施設の位置づけは、東側に古宇利島、古宇利観光拠点施設がある。西には文化遺産の城跡がある。この中心地の役場周辺には観光施設がないので素通り観光になる。中心地である仲宗根地区に道の駅という集客できる機能を備えた施設を整備し観光客をここで受け止めることで素通り観光の解消、経済活動の循環が起こり、所得の向上等に繋がっていききたい。

問2 今帰仁村観光協会へ交付した補助金

令和3年度から令和5年度まで支援した1億3千万円の費用対効果について

答 村長

一括交付金を活用した業務委託で同協会に委託した事業は「村着地型観光推進事業」および「村体験・滞在型観光推進事業」で、2事業とも一定程度費用効果は出ていると認識している。

問 様々なプログラムを観光協会も組んでいると思うが、費用対効果として期待があるのか。この3年間を精査しているのか伺う。

答 経済課長

これまでの効果を検証して、来年は着地型の体験滞在も村が補助金を出さずに独自で体験出来るように取り組んでいきたい。

問 一括交付金が今年度で終わってしまうことは観光協会も大変厳しいことになるが、しっかり精査していただいて、観光協会の意見も取り入れながら、今後も継続的に村の観光が、素通りではない観光を目指していることから、村に経済効果がある方法を村も考えてもらいたいが見解を伺う。

答 経済課長

村長が申したように、素通り観光ではなく、今後は定着して北山文化圏センターもあるのでこれを計画に入れていきたい。



島袋 輝也 議員

問1 保健・医療福祉の充実

(地域包括ケアシステムの構築)

現状と課題

答 村長

地域包括ケアシステムの構築における現状と課題については、住み慣れた地域で必要な医療や介護、生活支援を包括的に提供できる体制の構築に向けて関係機関と協議しながら体制づくりを進めている。また、介護専門職や家族の高齢化、介護の担い手も減少する中、介護予防の推進や日常生活を支えるサービス基盤の整備が課題であると認識している。

問 地域活動の拠点として公民館機能の充実について伺う。

答 村長

地域活動の拠点・公民館機能の充実について、公民館は、地域住民の生活文化の振興や健康、社会福祉の増進に寄与する身近な地域包括ケアシステムを推進していく活動拠点と認識している。村では運動指導士の派遣や保健師等の専門職による健康相談を実施。また、全自動血圧計を各字の公民館に配置し、公民館機能の充実を図っている。

問 公民館では、介護予防の体操教室を行っているが6月からは暑すぎて、体操教室を休憩した事例もある。冷房機器、ストレッチマット等の運動しやすい環境づくりや、固定式の全自動血圧計も整備することが可能か伺う。

答 社会教育課長

今議会の補正予算で冷房設備等の整備補助金を計上している。各字公民館は、会議や各種研修・健康づくり事業が行われており、地域の中心施設と考えている。予算成立後、しっかりと対応していきたい。

問2 村の自然景観の保全

(1 国土利用計画の見直しについて) 村農業振興地域整備計画との関連、村墓地基本計画との関連は。

答 村長

国土利用計画の見直しについて、同計画は村土の合理的かつ有効的土地利用の基本的事項を定めたものである。村土の利用に関する行政上、諸計画の基本となるものと位置づけられている。村農業振興地域との関連について農業振興地域整備計画は、現在、全体見直しを行っている。国土利用計画との関連は、大変重要だと認識している。村墓地基本計画との関連について、同計画の利用区分別

基本方向には墓地に関する項目は無いが、村土利用に関する計画の観点から墓地基本計画と関連する部分は出てくるものと考えている。

問 (2 史跡、村仲原馬場について) 工事期間中、樹木への負荷等は配慮されているか伺う。

答 教育長

史跡、村仲原馬場における工事期間中、樹木への負荷等は配慮されているかについて、松の枝の張り出した部分にリボンをつけ、大型車が枝に接触しないように配慮している。また、馬場中央付近を走行し、松の根への影響を軽減するように努めさせている。

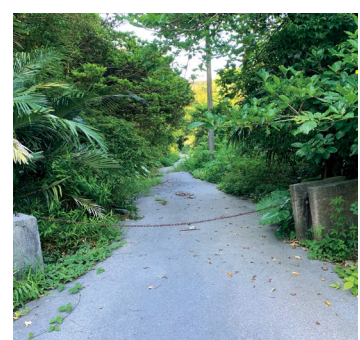
問3 計画的な道路の維持と管理

答 村長

生活道路の計画的な維持補修計画の必要性について見解を伺う。

生活道路の計画的な維持補修計画の必要性については、村道路舗装長寿命化修繕計画に基づき予防保全型

の修繕へ転換を図るべく村道を管理している。



▲旧平敷伊豆味線

答 村長

旧平敷伊豆味線の活用について、現況は老朽化が激しく謝名側と最終処分場付近で通行止めとなっている。提案については、今後調査研究していく。



▲コーヒーの木



座間味 薫 議員

問1 今後4年間の新たなプロジェクト

持続可能な農業のむらプロジェクトについて

(1) 山羊肥育生産者支援とあるがどのような支援を考えているか伺う。

答 村長

今年度は山羊の産子(さんし)に対する登録料の補助を行っている。

問 山羊の登録は義務か。

答 経済課長

登録していない山羊についてはセリに出せない。現在、未登録の山羊が多いことから、年間の登録料を補助する。

問 山羊肉加工や、流通・販売といった6次産業化について伺う。

答 経済課長

今後、十分検討して行きたい。

問 (2) 獲る漁業から「つくり育てる」漁業への移行について伺う。

答 村長

「モズク養殖」に注力しており、近年は生産量も安定し漁業者の生産意欲も向上していると認識している。

問 モズクの種付け生け簀やモズク網干場、培養施設、冷凍冷蔵施設の支援について伺う。

答 経済課長

今後、事業も検討していきたい。

問 (3) 甘藷の産地形成について伺う。

答 村長

これまで古宇利区が拠点産地として認定を受け、甘藷栽培を行ってきたが、現在は農家数3戸と少数であり、生産量が低迷している状況であり、今後は広く甘藷栽培を奨励し、村全体が拠点産地として認定されるよう取り組む。

問 平和で自力建設な『むら』プロジェクトについて

(1) 道の駅からの波及効果で仲宗根地区を賑わいゾーンとして位置づけることについて伺う。

(2) 戦没者慰霊塔の移設や平和の森公園の整備計画について、場所はどのあたりを想定されているか伺う。

答 村長

(1) 現在進めている北山文

化圏センター整備に隣接する北部製糖工場用地の一部を活用し、道の駅や体験施設等を整備して、道の駅が生み出す「ひと・もの・交流」のにぎわいを周辺に波及させるべく、仲宗根地区を賑わいゾーンとして位置づけ、地域経済の循環を創出し、村民所得向上につなげていく。

(2) 建立から70年が経過し老朽化や敷地の課題などもあることから、今後移設先を含め、公園化による整備を検討していく。

答 副村長

公園化の整備については一定程度の用地面積が必要。小さな森とか丘が用地として望ましいと考える。遺族会の意見もしっかりと拝聴しながら、移設先、そして整備を進めていきたい。

問 北山文化圏センターとは別の性格になるが、平和祈願ゾーンと銘打って計画してはどうか。



▲慰霊塔(字謝名)

問1 観光防犯カメラの設置

テーマパークの開園予定に伴い、さらに観光客の増加が見込まれる中、犯罪、文化財へのいたずら書き等々の対策も必要であり、その治安維持の観点から、そして関係事業者や、近隣住民に

対し、ある程度の協力関係を構築し、カメラの設置の支援をしてはどうか。見解を伺う。

答 村長

地域の治安維持、犯罪防止などの観点からも、防犯カメラの設置は、多様な目的に効果があるものと認識している。村が公の施設や道路等に設置している防犯

カメラ数は計23基。今後さらに設置が必要となる施設や場所などについて、本部

署など関係機関からの意見も拝聴しながら、防犯カメラの設置を検討していく。

関係事業者、近隣住民に対しても支援の対象となっているのか。再度答弁を求める。

答 総務課長

今のところ考えていない状況である。

観光客の増加に伴い、そういったアクシデントが起った場合には、検討していただきたいと思うが、再度答弁を求める。

答 総務課長

カメラの支援、補助のことで認識しているが、その支援とは別に地域の協力体制が構築できるように努めていきたい。

問2 沖縄県高校駅伝大会

今帰仁村本部町間で行われていた同大会であるが、現在、どのように行っているか伺う。

答 教育長

令和5年度大会においては、村総合運動公園をスタートし、上本部中入口バス停付近を折り返す大会コースで開催されている。

令和6年度は今帰仁村本部町間で開催するのか。

答 社会教育課長

高体連から令和6年度においても今帰仁村で開催したい旨の依頼文が届いている。

村が同大会開催の招致とかそういった活動をしたの

か。それとも県のほうから依頼があったのか答弁を求める。

答 社会教育課長

聞いた限りによると高体連側から打診があり、村も快く承知したと伺っている。

村で開催されるように招致等の活動を行うのか。

答 社会教育課長

特に招致というわけではないが、引き続き県高体連と協力関係を築きながら、大会をサポートしていきたい。



問3 役場前交差点のスクランブル交差点化

役場前の交差点をスクランブル交差点化についての見解を伺う。

答 村長

交通管理者の本部警察署へ確認したところ、対象道路のスクランブル交差点化については基準外であるため、設置は困難との回答をいただいている。

基準というのは、どういった内容なのか。

答 村長

警察庁が出している交通規制基準があり、その中に斜め横断の対象道路がある。その中で繁華街、駅やバスターミナルの周辺という前書きがあり、そういうところで斜め横断者の目的の歩行者数が多い交差点。交差点の形状から歩行者の斜め横断の効果が期待できる交差点となっている。

問1 選挙公営制度

お金のかけられない選挙、候補者間の選挙活動の機会均等を図る為の制度がある。市町村議会議員が受けられる対象の中に、ビラとポスターの作成も含まれているが、先日行われた村議会議員補欠選挙において公費で作成することができなかった。若い世代や子育て世代が立候補しにくい原因の一つが選挙活動のための資金調達である。立候補する際の負担を軽減するために、早急に村でも対応してほしいと考えるが、村長の見解を伺う。

答 村長

選挙公営制度の導入については今後、他市町村の状況も勘案しながら調査研究に努めていく。

問2 小中学生の給食費無償化

① 沖縄県は給食費を全面的に無償とする市町村に対し、費用の半分を県が補助するという事業の発表をしている。村独自で半額助成を行い、村の小中学生の給食費を完全無償化できると考えるが、現在給食費の対応はどうなっているか伺う。

答 教育長

中学生の給食費完全無償化については、令和7年度

から実施する予定。

問 ② 県の取組と並行して、中学校の給食費無償化が実現した場合、小学校の無償化への期待が高まると考えるが、村はどのように実現していこうと考えているか伺う。

答 教育長

小学校の給食費完全無償化については、国、県の動向を注視しながら、村独自の2分の1以内の助成を継続していく予定。

問3 給食センター

① 空調設備が整備されていないことで、職員の体面や給食センター自体の衛生面について、多くの保護者から意見が届いている。職員、食材に対する対応はどうなっているか伺う。

答 教育長

調理場内は高温多湿で職員に負担をかけていることは認識している。対策は、交

代で冷房機のある部屋での休憩、水分補給をこまめに行うなど、施設設でできる熱中症対策などを行っている。食材については、冷蔵庫、真空冷却機等を整備しており、安全に給食を提供できる体制整備に努めている。



▲真空冷却機

問 食材についての対策は。

答 学校教育課長

冷蔵庫、真空冷却機、食料保管庫についても、24時間エアコンをつけっ放しの状態

態であり、空調が調理場内にはないことに対して、食品の劣化はないと考えている。

問 職員は厳しい職場環境の中で日々給食をつくっている。働いている職員の命、大きな食中毒などが発生した場合、給食を食べる子ども達や先生方の命に関わる大切な施設。早急に対応できないか伺う。

答 教育長

現施設は平成8年に完成し、令和6年現在で28年経過しており、今後、建物状況調査など調査研究していく。

問 職員の働いている環境を改善していただきたいが。

答 学校教育課長

給食センターから要望を受け、スポットクーラーを1か月間リースする予定。



石嶺 美奈実 議員



▲1か月間リース(10月)したスポットクーラー

問1 教育



與那 勝治 議員

文科省が定める教育課程の基準である学習指導要領には、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育んでいくことを目指し、「どのように学ぶか」も重視しているところ。「資質・能力」を育むために、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を重要視しているところがあるが、本村はどう取り組んでいるか伺う。

答 教育長

「資質・能力」を育むために「主体的・対話的で深い学

び」の視点から、子どもたち自身で課題を見つけ、どう解決していくか子ども同士との対話を重視し、ペア学習、グループ討議等を行い、教員はヒントや流れを提供していく学習方法が展開されている。

問 これからの教育に求められることとして子どもの主体性を伸ばすこと。社会のつくり手の当事者であるという認識を育むことがとても重要であるといわれているが、改めて本村の目指すべきこれからの教育について伺う。

答 教育長

学校教育本来の目的というの、学校での教育を通して

して子どもたちが社会に出たときに、自己実現を図りながら、よりよく生きていくというのが目標だと思う。自ら考え、判断し、決定し、行動するという自律心を育てるということ、常に最上位目標として置き、学校教育を展開することが大事である。

問2 防災対策

先日開催された今帰仁まつりの新たな取組として防災フェアが行われ、NPO法人防災サポート沖縄理事長による講話があり、「自然災害は避けられないものであり、特に大規模な自然災害が発生した際、自分の身を守るのは自分だけだ」という言葉が印象に残った。そこで個々の自助を促進するための取組について見解を伺う。

答 村長

村のホームページにハザードマップや「防災、緊急情報、災害に備える」コー

ナーを掲載する等、防災への意識づけを促すとともに、学校での防災学習への協力を通して、防災対策の大切さを伝えていく。地域防災力を高めることを目的に、地域防災計画に基づき、字単位での自主防災組織結成を推進している。災害時に行動できる組織の育成が重要であるとの考えから、今後は実践型の防災訓練の計画に取り組み、地域の防災リーダーとして期待のできる防災士の資格取得促進も図っていく。

問 例えば、家庭用防災用品購入費補助金や助成金などで自助を促すこともできるのではないか。

答 総務課長

災害に備える準備を進める中で、費用の助成があればより進むのか、先進地を確認し、各家庭で備える意識を高めることについて検討させていたきたい。

問 自分の命は自分で守る、自分の家族は自分で守ると

いう意識を持つてやらなければ、いざ災害が起きたときに大変な惨事が待ち受けている。自助を促すような取組を積極的に行っていたきたい。

答 総務課長

自助は多くの命を守る手だてにつながると認識している。これからも継続的に防災の事業を進めていく中で、補助事業等もしっかりと活用できるようにアンテナを張り巡らせて、地域自体が防災力の強い地域をつくっていくよう取り組みたい。

問3 信号機

役場前信号機に矢印式信号機の設置を求めているが、いまだに設置できていない。設置できない理由は何なのか、見解を伺う。

答 村長

交通管理者である本部警察署へ要請をしたが、明確な回答は得られてない。

問1 運天港船舶連絡事務所の整備及び周辺道路



島袋 誠 議員

(1) 県内で6つの重要港湾のひとつである運天港であるが、待合室に空調がなく利用者が不便をきたしている状況が続いている。伊平屋村や伊是名村とも連携をとって整備できる方法がないか伺う。

(2) 運天港から出て、県道72号線から国道505号に抜ける村道湧川運天線があるが、路肩側の雑草除去が追いつかない状況が見受けられる。離島からの玄関口なだけに、除草回数の頻度を増やすことはできないか伺う。

答 村長

(1) 運天港待合室の空調

整備は、費用が発生することが想定されることから、施設所有者の県、伊是名、伊平屋村に要望等の有無を含め、調査研究していく。

(2) 村道湧川運天線がある

が、路肩側の雑草除去回数の頻度を増やすことができないかについては、村道等の除草作業は、歩行者の安全確保から歩道を優先に除草を行い、車道は交差点付近を中心に現場の状況に応じて対応している。年間を通して村道里道等を計画的に実施しているが、回数や頻度については検討していく。

問2 キャリア教育の今後

村内外の教育現場、そして村民からも一定の評価を

受けている本村のキャリア教育であるが、今後、同様の内容を継続していくのは懸念を抱くところもある。継続していく体制づくりは構築できているか伺う。

答 教育長

本村の教育の中核をなすキャリア教育は、地域連携コーディネートターを配置し、地域と学校をつなぎ、「教室へホンモノを届ける」授業を行っており、今後も地域を知り、地域に誇りを持てる人材育成に資するため、地域連携コーディネートターを継続配置し各種プログラムを行っていく予定。

問3 ふれあい少年の翼

今回で35回目となる事業になるが、今年度のふれあい少年の翼派遣場所は決定しているか伺う。

答 教育長

今帰仁村「ふれあい少年の翼」は、ふるさと創生事業の一環として平成2年度か

ら実施され、平成24年度からは一括交付金を活用しての事業として現在も継続し行われている。事業の目的の一つである児童交流は、これまで山形県酒田市児童と行ってきたが、コロナ禍により学校運営の変更を余儀なくされているとの理由から、村が掲げる事業目的の達成には困難な状況であるため、新たな研修地の選定は喫緊の課題である。村としては、情報の収集や関係する機関との協議を踏まえ、令和6年度は北海道釧路町に決定している。

本一遅い桜まつり」が釧路町で開催され、村は「全国一早い桜まつり」を開催している。一番早い桜まつりと一番遅い桜まつりという観点から、何か縁があるのではないかとということで、協定を結んだということを知っている。また、釧路町観光協会からのアプローチもあり、釧路町教育長とつながりを持ちながら、「今後どうでしょうか」ということで進めてきて、現在に至っている。

答 学校教育課長

釧路町との関わりについては、村観光協会と釧路町観光協会が平成30年に姉妹協定を締結している。5月に「日



▲ふれあい少年の翼(R5年度：山形県酒田市)

議決結果・賛否一覧表														
「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「退」：退席 「公」：公務の欠席 「病」：法定伝染病の欠席。 議長は採決に加わらないため斜線としていますが、可否同数の場合に採決権があります。														
議案番号	議 案	議決結果	議席	1	2	3	議長	5	6	7	8	9	10	11
			氏名	座間味 靖	根路 銘弘美	島 袋 輝也	上 原 祐希	石 嶺 美奈実	上 間 聡	島 袋 誠	與 那 勝治	座間味 薫	山城 太	東恩納 寛政
令和6年 第3回定例会 令和6年9月11日（水）														
報第8号	専決処分の報告について	報告	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
報第9号	専決処分の報告について	報告	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
報第10号	専決処分の報告について	報告	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
報第11号	専決処分の報告について	報告	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
報第12号	令和5年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	報告	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
報第13号	令和5年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
報第14号	令和5年度水道事業会計予算の弾力条項の適用について	報告	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年 第3回定例会 令和6年9月24日（火）														
議第43号	今帰仁村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	欠	○	○
議第44号	令和6年度今帰仁村一般会計第3回補正予算について	可決	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	欠	○	○
議第45号	令和6年度今帰仁村国民健康保険特別会計第2回補正予算について	可決	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	欠	○	○
議第46号	令和6年度後期高齢者医療特別会計第1回補正予算について	可決	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	欠	○	○
議第47号	令和6年度今帰仁村水道事業会計第1号補正予算について	可決	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	欠	○	○
認第1号	令和5年度今帰仁村一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	欠	○	○
認第2号	令和5年度今帰仁村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	欠	○	○
認第3号	令和5年度今帰仁村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	欠	○	○
認第4号	令和5年度今帰仁村水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	欠	○	○
同意第5号	今帰仁村副村長の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	／	○	○	○	○	欠	欠	○	○

今帰仁村議会 報告会・意見交換会

村議会の取り組みや村政のことを報告し、村民と意見交換するため、報告会・意見交換会を開催します。どなたでもご自由に参加できますので、ご家族、ご友人をお誘いあわせの上、お気軽にお越しください。日ごろ感じている皆さまのご意見をお聞かせください(^^) ※予約の必要はありません。

日時：令和7年1月17日(金) 18：30～19：30
場所：村コミュニティセンター2階ホール 問い合わせ：0980-56-4397 (村議会事務局)

在アルゼンチン今帰仁村人会創立90周年記念式典祝賀会

在アルゼンチン今帰仁村人会創立90周年記念式典祝賀会が令和6年10月6日にアルゼンチン共和国ブエノスアイレスで執り行われました。今帰仁村議会を代表し、議長が列席しました。今から90年前に故郷今帰仁から遠く離れたアルゼンチンに渡った先輩方の現地での暮らしは、波乱万丈であったとの事です。日々の暮らしの中で故郷今帰仁のことを思い、これまでの苦労を忘れず、未来への希望を持ち、これからも村と村人会の繋がりを大切にしていきたいとの気持ちが強く心に残っています。※詳細は、次号にてお知らせします。



嘉味田今帰仁村人会会長から村へ寄付金

10/9(水) 町村議会議員・事務局職員研修

那覇市



講演「観光商業について」 講師 沖縄県総合事務局運輸部長
講演「議員報酬の適正化に向けて」 講師 全国町村議会議長会議事調査部長

8/21(水) 町村議会正副議長・正副委員長研修会

北谷町



講演「地域医療の崩壊と再生」 講師 富山大学総合診療科名誉教授
講演「町村議会が今取り組むべき課題」 講師 全国町村議会議長会議事調査部長

11/27(水) 町村議会広報研修会

那覇市



講演「何について 何を言いたいのか!!」 講師 熊本大学客員教授

10/16(水) 今帰仁村平和祈願祭

慰霊塔／字謝名



追悼の辞を述べる上原祐希議長

編集後記

8月11日の村長選挙で久田浩也氏が二期目の村長に当選しました。選挙公報に「これからの4年間新たなプロジェクトを立ち上げて、果敢に取り組んでいきます。」と、6つのプロジェクトを掲げています。是非、実現できるように取り組んで頂きたい、議員の一人として注視していきたいと思っています。

また、同日行われた議会議員補欠選挙では石嶺美奈実氏が当選しました。選挙公報に「暮らしと自然が共存する観光を今帰仁村から発信」「子育て世代の声を議会へ」とあります。

私も同僚議員として多くの村民の声を村政へ届けていきたいと思っています。表紙の座間味榮仁・久美子夫妻は長年クワンソウ栽培や生茶等の加工品づくりに取り組んできました。花の開花時期には多くの方が訪れます。今帰仁村の特産品の一つになっています。

(座間味 靖)

広報委員長 座間味 靖
副委員長 根路銘弘美
委員 島袋 輝也
委員 上間 聰